

交際したり

七、九州地方戦線統一に歸する件 野 澤 四 郎 説明

(一次の大會議案文により説明す)

主文「全農總本部の戦線統一方針を是認し九州各地にある福  
佐其の他の單獨組合を全農の旗の下に合流せしめ、以て全  
國的無産農民運動の西部戦線をかたむべし。

理由「農民運動が單なる小作科引下げの歎願である限りに於  
ては、一利一害の單獨組合であつて差支へないが資本主義  
の行詰りに對慮し没落地主必死の攻勢となり來るや、連勝  
としては土地制度ともその興の資本主義の幹根に突撃せね  
ば終局の解放はないのであつてそれには何としても毛利公  
遺言の「五本の矢を一束にする」が如く全國的な農民の  
單一大組織たる全農の旗の下に結集し、更に都市労働階級

と提携し大衆政黨を強化し公然明確なる日常闘争を通じ農  
高の政治闘争へまで發展させて行かねばならぬ。

然らば事實はどうか、五年前共産黨戦術を支持するか大  
衆政黨を支持するかにより全農から除名された數縣の全農  
會議派は其の後の真田によれば自己の戦術の誤謬を痛感し  
分發孤立の計をさとり總本部へ謝罪、復歸して來て居る。  
值かに今尚ほ全國會議派に立てこもるは兵庫と福佐のみと  
なつたか其の兵庫も大阪、奈良、京都等の同志に接けられ  
去る七月の中央委員長會へ復歸を申請し來つてゐるのである  
ここで吾人は説明の都合上縣内に併立する日農と福佐に就  
いて冷靜率直に批評したい。希くはこの二團體はこれを單  
なる愚口と解する事なく三省ありたし。

(山)日農「全國的な大組織と言はれて居るが、實は平野君の山